

ARDFには 楽しみ方がいっぱい!!

◇ナビゲーションスポーツとしての楽しみ

まずは地図上で自分の位置を特定し、受信機を使ってTXの位置を予測。そしてTXへ向かう最適なルート計画を立てる。その予測した位置でTXを発見した時は言葉にできない感動があります。



◇自分の道具を改良する楽しみ

ARDFに必要な道具は受信機だけではありません。コンパス(磁石)や地図板、時計に至るまで使い手の工夫が込められています。

その中でも受信機は探索のキモとなる道具ですから、必然的に工夫のかたまりとなり、使い手の思いが詰め込まれていると言ってもいいでしょう。

◇山の中をハイキングする楽しみ

ARDF競技は山の中や林の中で行われることが多く、原則として自転車等の乗り物は使用が禁止されています。つまり否応なしに10km弱の道のりを自分の脚で歩くこととなります。

ただのハイキングは単調になりますが、TXを探しながらのハイキングには新しい発見があるかも知れません。



◇移動運用する楽しみ

遠方の大会へ遠征するついでに移動運用はいかがですか？ 市町村サービス、各種ポイントサービスなどなど・・・

また全日本大会などでは特別記念局も開設されています。競技が終わったらすぐ記念局に駆け込む人も???もちろんゴールを通過してからですよ!

アマチュア無線 そしてARDFとの出会い

JJ0NYG 高野 賢太

○アマチュア無線との出会い

長野に住んでいた小学生の頃、隣に住んでいた祖父から、「誠文堂新光社」の「子供の科学」を毎月渡されていました。中ほどには必ずアマチュア無線の特集があり、ARDFも定期的に紹介されていました。家族にHAMはおりませんでした。特定小電力トランシーバーに触れる機会などがありました。小学6年生の夏に東京・晴海で国家試験を受け、晴れて第四級アマチュア無線技士となりました。

高校に入学するも、アマチュア無線部は数年前に廃部されていましたが、ゴミ置き場に積まれていた大量の「お宝」は、幸いにも地元D-STARSレピータに活用されました。

大学に入学し、栃木での一人暮らし。無線とは無縁になるかと思いきや、大学の屋上にD-STARSレピーターが設置されているではありませんか！長野には自分たちで設置したレピーターがありますから交信し放題の環境が整ったことになります。

○ARDFとの出会い

「子供の科学」の記事でARDFに興味はありましたが、受信機も無く近所に経験者もなく、なかなか参加の機会がありませんでした。

大学3年の秋、JARL栃木県支部主催のARDF受信機製作講習会に参加しました。半日かけて中国製受信機PJ-80キットを製作しましたが、そこは中国製、パーツの個体不良などで楽しませてもらいました。

○初めての成績は・・・

受信機製作の翌月に開催された栃木県支

部大会・関東地方大会が初めての大会参加となりました。

1日目は3.5MHzです。8の字特性とカージオイド特性の説明だけを受けての結果は5個全て発見するもタイムオーバーで失格となりました。いやこれは「初参加だから失格になっても全部探そう」との思いからなんです!!。

2日目は144MHz、教科書通りの電波の特性で反射に惑わされながらも、5個全てを発見し時間内にゴールすることができました。5人中2位という結果になりました。

○ARDFへの思い

栃木の大会に初めて参加してから2年、10以上の大会に参加して競技の腕は少しは向上できたかと思っています。

始めは走れば何とかかなと思っていましたが終始歩いている選手に負けることもあり、スタート直後の早い段階で作戦を立てないと歯が立たないことも思い知らされました。

ARDFは「体力も必要・頭脳と経験も必要・運も必要」な、健康で一生楽しめるスポーツだと思っています！

